



みんなで描く日本の鳥の今 全国鳥類繁殖分布調査にご参加下さい

レッドリスト改訂等に使われた前回の調査

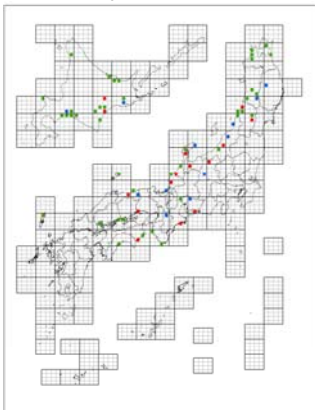
1970年代と1990年代に行なわれた環境省の全国鳥類繁殖分布調査。日本全国の鳥の分布図を描くために、日本野鳥の会を中心とした全国の約2,000人のバードウォッチャーの協力を得て実施されました。調査に参加され、当時のことを覚えている方もいらっしゃると思います。

全国の分布を明らかにすることは、観察者の多い一部の種以外では困難です。そのためこの調査の成果は、野生動物の全国的な分布とその変化をみることのできる数少ない情報として、現在でも日本の生物多様性の評価のために使われています。また、モズ類やヨタカなどの若齢林に生息する鳥、シロチドリやコアジサシなどの裸地に生息する鳥などが減少していることがわかり、これらの鳥がレッドリストに選定されることにもつながりました。

NGOが中心になって2016年からスタート

すでに前回の調査から20年が経とうとしています。近年もスズメの減少、外来種の分布拡大、藪にすむ鳥の減少など、鳥の生息状況に変化が起きており、全国の鳥の今を明らかにする必要があります。しかし、緊縮財政の世の中、次の調査を実施できる予算的な目処がたっていません。

1974-78年



1998-2002年

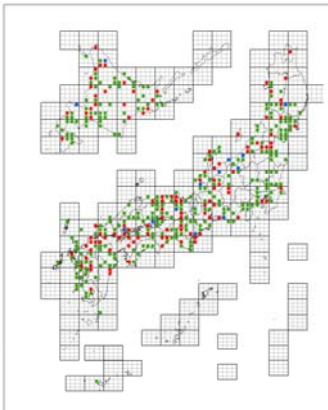


図1. アオサギの分布の変化。1970年代から分布が大きく拡大したことがわかる。赤が繁殖の確認された場所、青が繁殖の可能性の高い場所、緑が繁殖の可能性のある場所。

日本の鳥の今を描くために、皆さんの力を貸していただけないでしょうか？NGOと環境省、そして大学の研究者などが共同で、再び全国鳥類繁殖分布調査を実現するために動き出しています。予算はまだないのですが、助成金などで、調査費用はなんとか確保できるだろうという見通しです。

調査の方法

全国各地に設定されている2,300の調査ルートを調査します。調査ルートは約3km。そこを繁殖期に1回歩き、生息している鳥の種と数、繁殖ランクを記録します。また、ルートには2つの定点が設定されていて、ここでは30分の定点調査を実施します。その他、普段の観察の情報などをアンケート調査として、ご提供ください。

調査方法の詳細は以下のページよりご覧いただけます。

<http://www.bird-atlas.jp/map.html>

参加登録の方法

1. まず「繁殖分布調査」の参加登録をしてください。以下のホームページより登録ください。
<https://db3.bird-research.jp/~birdatlas/volunteer.html>
2. 調査地登録サイトのオープン(8月1日頃)後、事務局から調査地登録のためのWEBページのURLが送られてきます。
3. お知らせしたWEBページに掲載された地図から、調査コースの位置を知ることができます。その中から調査可能な調査コースをクリックしていただき、出てくるメニューから「調査地の登録」をクリックしてください。フォームから調査地登録することができます。

できるだけ多くの方に調査に参加していただきたいので、同じコースに複数の方から応募があった場合は調整して一緒に調査していただきたいと思います。ご協力よろしくお願いします。

全国鳥類繁殖分布調査

主催団体：バードリサーチ、日本野鳥の会、日本自然保護協会、日本鳥類標識協会、山階鳥類研究所、環境省生物多様性センター

<http://www.bird-atlas.jp> e-mail: bbs@bird-research.jp